

支所・駐在員事務所を尋ねて(7) 福岡駐在員事務所

生い立ち

福岡駐在員事務所が九州に設置されたのは 昭和20年戦争末期のころであった。当初は地質調査所の一部疎開ということで 事務所は熊本県山鹿市に置かれた。それから今日まで17年の歳月が流れている。

20年8月 終戦となり 山鹿市から福岡市に移転し 名称は福岡出張所となったが その後 福岡支所となり 昭和27年現在の駐在員事務所となった。その間事務所も転々と移動し 昭和32年現在の通商産業省合同庁舎におちつくことができたのである。

調査・研究業務の中から

戦後は荒廃した日本を復興させる第1次産業として 北九州 長崎県下 熊本県下(天草)の炭田開発調査に重点を置き 各界の要望に答えて 炭田の調査 開発指導・研究に協力し多大の成果を挙げた。世の中が次第に安定するにつれ 調査研究業務も本来の使命にもどり 地質調査所の出先機関として 中小鉱山の地質鉱床調査ならびに技術指導業務が多くなってきた。当事務所で実施した調査は多岐にわたるが 大別すると 次のとおりである。

- 炭田地域の地質調査・研究ならびに技術指導
- 核原料資源調査・研究
- 未利用鉄資源開発調査・研究
- 天然ガス開発調査・研究

- 工業用水調査・研究
- 災害調査・研究
- 電力関係ダム地質調査・研究
- 金属・非金属鉱床調査・研究ならびに技術指導
- 地方官庁要望の地質調査・研究
- 福岡通商産業局依頼の鉱山調査・研究

相談業務

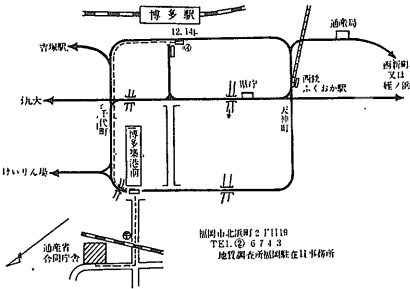
駐在員事務所は本所の窓口として本所業務の一部を分担している。したがって関係各界からの要望・相談業務もかなりの数にのぼっている。とくに 通商産業局およびその他 地方官庁の鉱業行政の立案にあたっては 種々の相談を受け 場合によっては本所の意向も入れて 目的達成に協力している。また これら業務に資するため資料の収集整理を行ない 本所との業務連絡・情報連絡あるいは受託調査の取り次ぎなども行なっている。

むすび

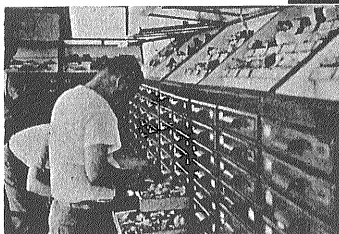
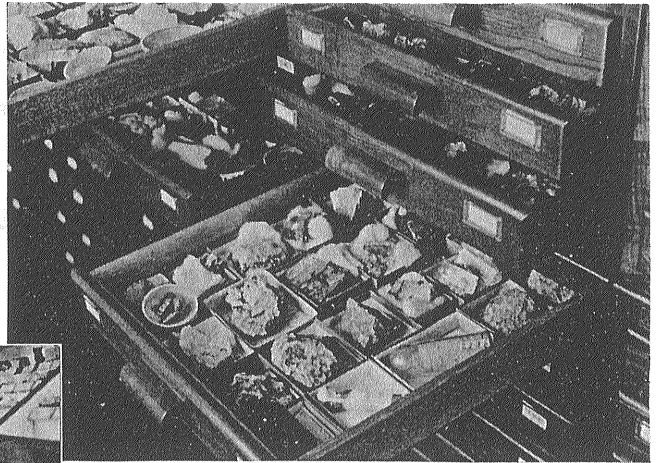
駐在員事務所は出先機関ということで あまり重要視されていない向きもあるが 最近では各方面から認識され 事務所の拡張 研究員の増員 研究設備の充実などが強く要望されている。

岡本コレクションについて

故岡本要一郎博士が収集された岩石・鉱物標本約3500点が当事務所標本室に整理保存されている。標本の中には 今後二度と得られないような珍品も数多く含まれ 同好者注目の的となっている。このコレクションは一般に公開されているので 自由に閲覧ができ また希望団体には鉱物標本のカラーズライド(テープ解説付き)の貸し出しもしているので ご利用を願いたい。



位置・案内図



↑ 岡本コレクションの一部
← (福岡駐在員事務所標本室)